****

***The world needs science, science needs women.***

**2025年度**

**第20回「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**

**募集要項**

**日本ロレアル株式会社**

**（ <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/> ）**

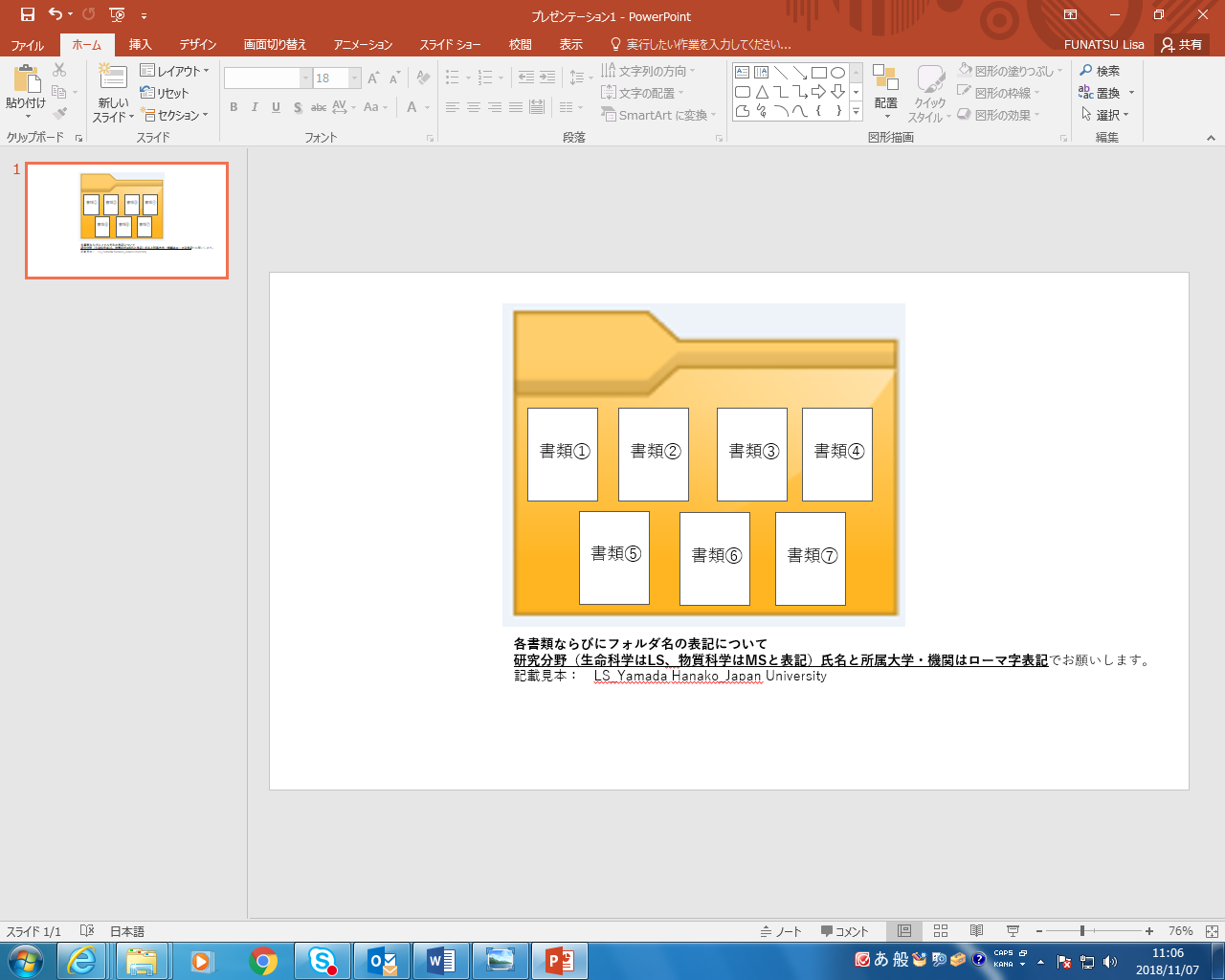
**後援（申請中）：　日本ユネスコ国内委員会**

**2025年度 第20回「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集要項**

1. **趣旨：**ロレアルグループとユネスコが世界規模で展開する女性科学者を支援する共同プロジェクトの理念を継承し、将来を担う若手女性研究者が**国内の教育・研究機関において**研究を継続できるよう、奨励しています。
2. **対象：**生命科学、物質科学の分野において、日本国内で博士後期課程に在籍あるいは、博士後期課程に進学予定で、40歳未満（応募締切日2025年3月31日時点）の女性を対象とします。
3. **奨学金授与の件数：**生命科学、物質科学の分野からそれぞれ原則1年2件（2名）、計4件（4名）を選考し、受賞者に賞状および奨学金100万円を贈呈します。
4. **受付期間：**2024年12月20日（金）から2025年3月31日（月）23時59分まで
5. **応募方法：**下記必要書類を「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局宛にe-mailにてお送りください。**１つのフォルダに下記必要書類をまとめて格納のうえ、**お送りいただく際はフォルダにパスワードをかけ、10MBを超える場合は、所属大学・機関で推奨されているファイル転送サービスをご使用ください。

＊個人のe-mailにてパスワード設定が不可の場合、指導教員または大学のe-mail代用可

**【フォルダ名の表記について】**



**研究分野（生命科学はLS、物質科学はMSと表記）、氏名と所属大学・機関は英語表記**で

お願いします。

**記載見本：　LS\_Yamada Hanako\_Japan University**

書類d

書類c

書類b

書類a

**【書類名の表記について】**

**該当書類の番号、研究分野（生命科学はLS、物質科学はMSと表記）、氏名と所属大学・機関は英語表記**でお願いします。

書類g

書類f

書類e

**書類 aの記載見本：　a\_LS\_Yamada Hanako\_Japan University**

1. **必要応募書類　 ※ファイル形式は全てPDFにてご提出ください。**

a)応募申請書

募集要項、応募申請書、指導教員からの推薦状は、日本ロレアルホームページ

<https://www.loreal.com/ja-jp/japan/articles/commitments/fwis-japanfellow-award-application/>

**2025年度 第20回 「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」　募集開始日（12月20日以降）**からダウンロードできます。

b)履歴書　(書式自由、身分証明書サイズの顔写真貼付)

c)指導教員からの推薦状

d)これまでの研究内容の概要　（A4版　2頁以内）

＊および別添(A4版　1頁以内)に、研究タイトルとアブストラクトを日英で併記ください　(和文500字/英文200words)

e)今後一年間の研究題目とその概要および今後の展望　（A4版　2頁以内）

f)発表論文リスト　（口頭発表含む）　著者名は可能なかぎり全員記載

**＊応募者本人がFirst authorではない論文は、First authorの役職名（発表当時）と、本人の寄与分（％）を明記ください。**

g)論文別刷

g-1)既刊および刊行予定の論文(Acceptance Letter添付) 3編以内　g-2)学会発表論文（アブストラクト）

＊上記g-1)、g-2)に該当する書類がない場合、修士論文で代用可

＊複数の論文がある場合は、まとめて1つのPDFでご用意ください。

1. **書類提出先 / お問い合わせ先**

「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局　loreal-fwis-japan@kreo.jp

事務局より書類受取のご連絡を1週間以内にいたします。(下記の年末年始休業期間は除く)

　＊事務局休業期間：2024年12月28日（土）～2025年1月5日（日）

1. **選考：**1次審査（書類選考）、2次審査（ヒアリング-日本ロレアル（株）新宿オフィスにて対面にて実施予定）、選考委員会による厳正なる審査を経て、2025年7月中旬から8月を目途に採否をご連絡します。
2. **授賞式：**採否のご連絡後、関西で授賞式を開催（10月2日予定）し、正式に受賞者の発表を実施します。（※受賞者は式典への出席は必須とさせていただきます。）

**2025年度 第20回「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**

**応募申請書**

**（日付）　　　　　年　　　　月　　　日**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究分野**  該当分野を○で囲むこと | 生命科学 | 物質科学 |
| **研究テーマ** |  | |
| **氏名　(フリガナ)** |  | |
| **生年月日** | （西暦）　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　　日　　　　　（　　 　　　歳） | |
| **自宅連絡先** | （住所）　〒  （電話）  （携帯）  （FAX）  （eメールアドレス） | |
| **所属大学連絡先** | （住所）　〒  （電話）  （FAX）  （eメールアドレス） | |
| **所属大学・学部・学科** | （大学名）  （学部名）  （学科名） | |
| **指導教員連絡先** | （氏名）  （役職名）  （大学名）  （学部名）  （学科名）  （住所）　〒  （電話）  （FAX）  （eメールアドレス） | |

**2025年度　第20回「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**

**指導教員による推薦状**

**（日付）　　　　　年　　　　月　　　　日**

|  |  |
| --- | --- |
| **①指導教員連絡先** | （氏名）  （役職名）  （大学名）  （学部・学科名）  （住所）　〒  （電話）  （FAX）  （eメールアドレス） |
| **②応募者氏名 (ﾌﾘｶﾞﾅ)**  （3名まで） |  |
| **③推薦理由　（応募者の研究姿勢・研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、将来性などについてご記入　　　ください。　また、研究の独創性・特色も明記してください。）** | |

注1）　一人の指導教員につき、ご推薦いただく学生は**3名まで**とする。

注2）　外部研究機関にて研究を行っている場合は、直接指導を受けている当該機関の教員からの推薦も可能です。

その場合は、学生証コピーまたは、所属大学・大学院の在籍証明書をご用意ください。

注3）　本推薦状は、審査の重要な資料となるので、当該応募者についてできるだけ具体的かつ明確にご記入ください。

注4）　本推薦状は、本書以外に新たに用紙を加えることはできません。

**応募者の方へのアンケートのご協力のお願い**

今後の参考として、お手数ながら、下記アンケートへのご回答にご協力ください。

■「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を何でお知りになりましたか。

該当項目に○印を記載ください。（複数回答　可）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **○印欄** | **項目** | **学会・雑誌名など** |
|  | **日本ロレアルのホームページ** |  |
|  | **知人からのご紹介** |  |
|  | **大学のホームページ** |  |
|  | **大学の事務からのご紹介** |  |
|  | **大学の先生からのご紹介** |  |
|  | **学会のホームページ** | 学会名 |
|  | **学会誌** | 雑誌名 |
|  | **新聞・雑誌** | 新聞・雑誌名 |
|  | **その他** |  |

■その他のご意見・ご要望

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

ありがとうございました。

「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局

**日本奨励賞　歴代受賞者　　　　　　　　　　　計75名**

**（参考）**

**ロレアルグループとユネスコ**

**世界規模で女性科学者を支援する社会貢献活動について**

パリに本社を置くロレアルグループと国連専門機関のユネスコは、**「世界は科学を必要とし、科学は女性を必要としている」**という理念のもと、世界の女性科学者の業績を称えるとともに、同分野で活躍する女性たちの世界レベルでの更なる飛躍と地位向上を目的に、1998年に共同で女性科学者を支援するプロジェクトを創設しました。同プロジェクトには次の2つのカテゴリーがあり、プロジェクト1、2はいずれも世界規模で展開しています。全プロジェクトを通じて、これまでに**世界110ヵ国以上から4,100名以上**の女性科学者が表彰されました。

1. **「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」(本社主催)：　日本人受賞者7名のほか、ノーベル受賞者も輩出**

世界の科学の発展に寄与した女性科学者の業績を称えるものです。日本からは下記の7名が受賞（所属：授賞時）しています。

* **2021年 野崎 京子氏/東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授、日本化学会理事：**有機合成化学分野へ先駆的かつ創造的貢献と、産業革新にとっての研究成果の重要性
* **2019　年　川合 眞紀氏/自然科学研究機構分子科学研究所長、東京大学名誉教授：**原子レベルで分子の操作・制御および、化学反応を引き起こす手法を見出し、新しい化学、物理学的現象の発見へとつながるナノテクノロジーの基盤の確立に貢献
* **2014年　稲葉カヨ氏/京都大学理事・副学長（男女共同参画・国際・広報担当）、京都大学男女共同参画推進センター長、京都大学大学院生命科学研究科教授：**正常時ならびに疾患時における免疫システム内の樹状細胞の主要な役割の解明に貢献
* **2013年**　**黒田玲子氏/東京理科大学総合研究機構教授、東京大学名誉教授：**分子構造の左右性の違いが自然界に広く現れる左右性（キラリティー）現象に重要であることを明らかにし、アルツハイマーなどの神経変性疾患研究などの応用研究に貢献
* **2009年**　**小林昭子氏/日本大学文理学部化学科教授、東京大学名誉教授：**世界で初めて単一分子性金属の設計と合成に成功し、分子性伝導体の開発研究への多大な貢献
* **2005年**　**米沢富美子氏/慶応義塾大学名誉教授：**アモルファス半導体および液体金属の先駆的理論とコンピューター・シミュレーションによる解明に貢献
* **2000年　岡崎恒子氏/名古屋大学名誉教授：**分子生物学の草分け的存在で、DNAの不連続複製「岡崎フラグメント」の功績により表彰

また、ロレアル－ユネスコ女性科学賞の2008年の米国受賞者であるエリザベス・ブラックバーンと、欧州受賞者であるアダ・ヨナットが、それぞれ2009年ノーベル医学・生理学賞およびノーベル化学賞を受賞。2016年の受賞者エマニュエル・シャルパンティエ教授とジェニファーA.ダウドナ教授の2名が、2000年ノーベル化学賞を受賞、さらに2022年米国受賞者のカタリン・カリコ教授と2011年欧州受賞者であるアンヌ・リュイリエ教授がそれぞれ2023年にノーベル医学・生理学賞と物理学賞を受賞するという快挙を遂げています。

1. **「ロレアル－ユネスコ国内賞」（各国ごとに主催）：**

ロレアルグループでは、現在、日本の「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」をはじめ、各国において、同プロジェクトの理念を継承し、博士課程などの若手女性科学者が**研究・教育機関**で研究を継続できるよう奨励し、助成しています。

**なぜ、ロレアルグループとユネスコとの共同創設賞なのでしょう？**

ロレアルグループは、1909年の創立当初から研究活動を最重要視し、化粧品科学を一つの独立した科学分野へと育て上げてきました。また、女性研究者を積極的に登用しており、約4,000名の研究者のうち、女性が占める割合は60％に上ります。一方、ユネスコも女性の科学への参画を優先課題に掲げ、数多くのプログラムを推進しています。こうした共通の理念のもと、ロレアル－ユネスコの共同プロジェクトは創設されました。

**■「ロレアル－ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」（主催：日本ロレアル）**

[https://www.loreal.com/ja-jp/japan/articles/commitments/fwis/](https://www.loreal.com/ja-jp/japan/articles/commitments/fwis/" \t "_blank)

 「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」の国内版として、日本ロレアルは2005年に日本ユネスコ国内委員会の協力のもと「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を創設。日本の若手女性科学者が研究活動を継続できるよう奨励することを目的とし、物質科学、生命科学の分野で、博士課後期課程に在籍または、博士後期課程に進学予定の女性科学者(40歳未満)を対象としています。毎年、物質科学・生命科学から原則、各2名(計4名)に奨学金100万円を

贈呈しています。2024年度を含み75名の若手女性科学者が受賞しており、受賞後さらにキャリアを開花し、国内外で活躍しています。

**■「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」（主催：ロレアル本社）**[https://www.forwomeninscience.com/](https://www.forwomeninscience.com/" \t "_blank)（英語のみ）

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）はいち早く、1998年に世界の社会的課題である科学分野における女性研究者の割合を増やし、地位向上を目指すべく「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」を創設しました。これまでに世界110ヵ国から4,100名以上の女性科学者（ノーベル賞受賞者含む）を表彰してきました。「ロレアル－ユネスコ女性科学賞」は、これまでに2021年の野崎京子氏（東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授日本化学会理事）を含む7名が受賞しています。

**■ユネスコについて** [https://en.unesco.org/](https://en.unesco.org/" \t "_blank)

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、諸国民の教育、科学及び文化の協力と交流を通じた国際平和と人類の共通の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。本部はフランス・パリにあり、2023年8月現在の加盟国数は194ヵ国です。科学においては、技術、イノベーションや教育の発展に注力しているほか、海洋資源や生物多様性の保全、科学的知識に基づく気候変動や自然災害への対応策に取り組んでいます。とりわけ研究において、あらゆる人種差別の撤廃と男女共同参画を推進しています。

**■日本ユネスコ国内委員会について** [http://www.mext.go.jp/unesco/index.htm](http://www.mext.go.jp/unesco/index.htm" \t "_blank)

日本では「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、文部科学省に置かれる特別の機関として日本ユネスコ国内委員会が設置されています。日本ユネスコ国内委員会は、教育、科学、文化等の各分野を代表する60名以内の委員で構成され、我が国におけるユネスコ活動の基本方針の策定、ユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査等を行っています。日本ユネスコ国内委員会事務局は文部科学省に置かれ、文部科学省国際統括官が日本ユネスコ国内委員会事務総長を務めています。

**■ロレアルグループについて**[https://www.loreal.com/en/mediaroom](https://www.loreal.com/en/mediaroom" \t "_blank)

ロレアルは110年以上にわたり美容・化粧品業界のリーダーとして、世界の消費者の美への希求とニーズに応えることに専念してきました。当社のパーパス「世界をつき動かす美の創造」は、社会に対しても、環境に対しても、サステナブル、インクルーシブ、倫理的かつ寛大な形で美を通じて貢献してゆくという私たちの美への姿勢を包括的に表現するものです。37の国際ブランドを初めとする多様で幅広いブランドポートフォリオと、持続的発展と環境を守るための取り組みである「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」プログラムを通じ、美の無限の多様性を賛美し、世界のすべての人々に最高水準の品質、有効性、安全性、誠実さ、責任をお届けします。当社は9万人を超える従業員を擁し、地理的にもバランスの取れた拠点展開と、すべての流通網（eコマース、マスマーケット、百貨店、薬局、美容室、ブランドおよび旅行小売）における販路を有しています。2023年のグループ売上高は411億8千万ユーロにのぼります。世界11ヵ国に20の研究開発と研究開発拠点を置き、4,000人以上の科学者と6,500人を超えるデジタル人材を擁するロレアルは、美の未来を創造し、ビューティーテクノロジーを推進していくことを重要視しています。 

**■日本ロレアルについて** [https://www.loreal.com/ja-jp/japan/](https://www.loreal.com/ja-jp/japan/" \t "_blank)

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。 2023年末時点での社員数は、2,300人、2023年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本はロレアルグループのなかで戦略的拠点のひとつであり、マーケティングならびに営業拠点のほか、研究開発所（日本ロレアル リサーチ＆イノベーションセンター）と製造工場（株式会社コスメロール）とシュウ ウエムラとタカミの2つのブランドの本社組織（商品企画やグローバル展開施策を策定する組織）を有しています。